

## 平成24年度 第3回太田地域協議会 会議録

■日 時 平成24年9月14日（金曜日） 午前10時00分～

■会 場 太田庁舎 2階 会議室

### ■出席委員（9人）

大信田 孝 文、大信田 康 雄、草 薨 太 郎、倉 田 良 子、小 松 淑  
鈴 木 弘 之、高 橋 清一郎、川 原 猪 利、福 原 榮 司、

### ■欠席委員（8人）

石 崎 尚、大信田 弘 喜、高 貝 恵 子、鷹 觜 信 行、高 橋 文 子  
野 中 シゲ子、藤 澤 由希子、藤 原 鈴 司

### ■出席職員（太田支所）

草 薨 均（太田支所長）	小 松 栄（市民サービス課長）
佐 藤 朗（農林建設課長）	長 澤 猛（太田公民館長）
湯野澤 俊 作（市民サービス課参事）	高 橋 正 由（市民サービス課参事）
福 原 幸 二（市民サービス課参事）	黒 澤 伸 朗（市民サービス課副主幹）
高 橋 隆 伸（市民サービス課主席主査）	

### 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 議題
  - ・会議録署名委員の指名
- 5 協議
  - （1）地域枠予算執行事業について
- 6 その他
- 7 閉会

### ●開会（小松市民サービス課長）

おはようございます。本日は、お忙しい中にもかかわらず、ご出席くださりまして、ありがとうございます。それでは定刻になりましたので、ただいまから平成24年度第3回太田地域協議会を開会いたします。

それでは、会長からごあいさつをいただきます。

### ●会長あいさつ（大信田康雄会長）

おはようございます。今年は例年になく大変な猛暑が続きまして、体調管理に苦労しておるところでございます。それぞれ皆さんも体調管理やいろいろな意味で大変な毎日を送

られておると思いますが、今、小松課長のお話のとおり、お忙しい時期にもかかわらずお集まりいただきまして、ありがとうございました。なんだかんだ暑い暑いといっても、やっぱり朝夕はめっきり秋らしく過ごしやすい毎日であります。外を見ますと雨で今年は農産物、稲やら野菜やら大変かなと思ったんですが、田んぼを見ますと稔り豊かな頭がぐつと一日一日下がっておるように見えまして、なんか今年は豊作じゃないかなと、新聞等では例年よりちょっとよさそうな程度のように見えますが、多分今年は大豊作ではないかなという期待をいたしております。そうした中で農家の皆さんは、これからが大変でございますけれども、いろんな意味でこれから体調管理をしていただいで頑張ってくださいと思います。今日の案件はお手元の次第のとおりでございます、皆さんからいろんなご意見を賜りますよう、実り多い協議会になりますことをお願いしまして挨拶といたします。よろしくお願ひいたします。

### ○小松市民サービス課長

ありがとうございました。続いて、支所長から挨拶をいただきます。

### ○支所長あいさつ

おはようございます。先程来、会長からお話がありましたように、お忙しいなか第3回の地域協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また委員の皆様には日ごろから地域行政に対しまして深いご理解とご指導、ご意見を賜りまして誠にありがとうございます。本当に今日もいいお天気で、仕事を抱えながら大変な時期とは思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。さて前回、第2回目の地域協議会の際に詳しくご提案できませんでした9月21日に開催されます太田地域文化講演会、記念事業につきまして、委員の皆様には大変失礼をいたしました。今回は9月21日の文化講演会には、首都圏ふるさと太田会の会長のご講演と地元が輩しました倉田政嗣さんの没80年の記念事業の2部構成という形でご提示しながら、今日の案件に盛りかせていただきましたので、よろしくご審議いただきまして、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、開会の挨拶に代えさせていただきます。

### ○小松市民サービス課長

それでは、本日の案件に入りたいと思います。なお、会議録作成のため発言の際はマイクを使用くださるようお願いいたします。本日の地域協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので成立していただきますことをご報告いたします。

それでは会議の進行につきましては、規定により会長にお願いいたします。

### ●会議録署名員の指名（大信田会長）

それでは、協議に入ります前に会議録署名委員を指名させていただきます。高橋清一郎委員と小松淑委員にお願いいたします。

### ●協議

（大信田会長）

それでは、次第5の協議の地域枠予算執行事業について、事務局の方から説明をよろしくお願ひいたします。

(事務局)

【資料1 倉田政嗣没80年記念事業について説明】

【資料2 太田地域文化講演会について説明】

【資料3 太田の秋まつり開催支援事業について説明】

(大信田会長)

ただいま3件について事務局の方からご説明をいただきました。前回お話しがあった内容を踏まえながら委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと思いますが、何かございませんか。

前回、内容が分からないまま承認することはできないということがありまして、冒頭、支所長からお話があったように、その詳しい内容が分かりました。倉田先生の内容について皆さんから意見をいただいてより良い内容にしたいと思えます。もちろんこれは支所の皆さんが英知を絞って、いろいろ協議しながら原案を作っていただいておりますけれども、自治組織連絡協議会の要請を受けながら、お金については地域枠予算で対応するということですので、何といたしますがお互いの気持ちが上手くいくように、やっぱり良かったなどいうようにしたいと思えますので、何でも結構ですので何かございませんか。

(草薙太郎委員)

倉田政嗣先生の80年の記念事業は大変いいことだと思います。それで県民歌の歌詞額ですけれども、見本には白舟極太楷書体とありますが、これはパソコンとか機械から出る文字で作るのでしょうか。

(高橋市民サービス課参事)

そうです。

(草薙太郎委員)

結構あちこちの県内の建物を訪れたときに県民歌の大きい額を掲げているところがありますが、そちらの額を見させていただきますと立派な手書きの筆の文字で書かれてあります。今の世の中なかなか筆を使って書く人は少ないとは思いますが、何となく機械の文字は出来上がりが綺麗で読みやすいんですが、味がないといえますかそんなイメージを持っております。これを手書きで作っていただくというのは難しいでしょうね。

(高橋市民サービス課参事)

これは、ただ書いたものではないです。ポプラの3センチの厚さのものを張り合わせたもので、秋田県民歌のふるさととして、どこにでもあるようなものを作っても意味がないので立派なものを作りたいということで、これは若干彫刻風に見えます。コンプレッサーで粗い目の砂を吹き付けて削るということで凹凸があります。評判になるようなものを作りたいということで、手書きは考えていませんでした。

(草薙太郎委員)

はい、わかりました。ありがとうございました。

(大信田会長)

今、草薙委員からお話あった、どこそこにあるような、ありふれたと言えば言葉があれですが、生誕の地太田ですので特別いいもの、金をかけるということではなくて高橋参事から詳しい説明がありました。他にございますか。はい、大信田孝文委員どうぞ。

(大信田孝文委員)

今いろいろお話を聞いて、なるほどと思いました。ここに県民歌の4番までありますがもともと4番までのものなのか、もっとあるのかお聞きしたいのと、これだけ立派な額で、今回お披露目というふうになるわけですが、もちろん太田の地域の住民には文化プラザに足を運ぶ機会は結構あるかと思いますが、他の地域の人たちにとっては、わざわざ足を運ぶというのはなかなかないでしょうが、是非見てほしいよというアピールを何らかの形でしていただければと思います。それから5ページの倉田政嗣先生の紹介は、この原版と同じものが飾られると解釈してよろしいでしょうか。

(大信田会長)

それでは、まず1点目の方からお願いします。

(高橋市民サービス課長)

4番までです。普通、歌われるのが1番、2番だけです。体育館にあるのは1番と2番だけです。4番まで書いてあるのはあまりないです。PRについては、まず太田の住民に知ってもらいたいというのが第一です。秋まつりとかのイベントやおはら節で市内外からも集まるとは思いますけれども、やはり地域の住民に覚えてもらうのが第一です。それから紹介のパネルは校正をかけています。字句とかの間違いもありますので修正しています。

(大信田会長)

よろしいですか。他にございませんか。はい、鈴木さん、どうぞ。

(鈴木弘之委員)

PRの件ですけれども、新聞社とかで大仙市太田をコマーシャルしていただきたいと思っています。よろしくお願いします。あと2ページの概要にピアノを演奏しながら独唱するとかいろんなイベントがあるようです。素晴らしい企画と思いますが、ピアノとか独唱の方はボランティアなのかなということで、ご難儀をかけるなということでした。

(大信田会長)

他にございますか。はい、倉田委員。

(倉田良子委員)

文化プラザで、県民歌を見るだけでなく聞くこともできるようにできないものかという提案です。

(草薙支所長)

大変、貴重なご意見ありがとうございます。今年は秋田県民歌そして倉田政嗣さんを紹介するというのは、没後80年の節目の年ということで、ひとつこれを契機として、この後、故郷の誇りとして語り継いでいきたいというアクションを起こしたというふうに捉えていただいて、今年はそのままで私どもの考えが及ばなかったんですが、地域枠予算と検討しながら、また来年度の事業ということで、事業を膨らませていながら後世に繋げていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(大信田会長)

倉田委員、よろしいでしょうか。そういうことで、そういう考え方も検討の材料として、来年度の事業でやるか、その後やるかは検討していただくということで、皆さんからご理解をいただきたいと思います。他に何かございませんか。この記念事業のほかに、3つ目の秋まつりの件について、まだ案のようでありますので皆さんから要望なり意見があれば、検討の余地があるかと思っておりますので、何かございませんか。はい、鈴木委員、どうぞ。

(鈴木弘之委員)

秋まつりの件です。今年の5月にチャレンジデーということで太田と一関市と対戦しまして、一関市の藤沢町というところで夏祭りがありました。そちらの方に太田から出店してくださいというような要望がありました。チャレンジデーの実行委員会の方から太田の物産を持ってお盆前に5人で行って来ました。太田の物産を広めてきたんですけれども、向こうの方でも秋まつりがこちらであるとすれば来てみたいなどと言っているようなこともありますし、もし枠がありましたら招待状を出したり、交流を深めていただければありがたいなと思います。

(小松市民サービス課長)

秋まつりや倉田政嗣さんのことで皆さんからいろいろご意見が出ています。秋まつりにつきましては、おおよその予算を示してまして、これから農協さんとか商工会さんとか様々な部門で、どんなことをしたらいいか様々ことを考えています。具体的には予算があれば頑張ってくるところがあると思うわけで、皆さんからは予算を上回ることもあるということを事前にご了承いただきたいと思っております。

(大信田会長)

いろいろな私たちの要望、意見を真摯に受け止めていただいて、前向きに検討していただくと、そのためにはこの予算をできるだけ活用してやりたいということですので、地域枠予算というのは地域のためにみんなが恩恵を被るとか参画するという意味で活用する予算ですので十分に活用していただければ非常に良いことと思っておりますので、そういう方向で頑張っただけであればと思います。まだ他にいろいろご意見あるかと思っておりますが、一先ずこれをもって3つの案件について、みなさんからご承認いただきたいと思っておりますが如何でしょうか。

異議なしの声あり

(大信田会長)

それでは、ご検討いただいた3案についてはご承認いただいたという事にいたしまして、地域枠予算の協議は終わります。その他に入りたいと思います。事務局の方から何かありますでしょうか。

## ●その他

(説明：事務局 黒澤)

- ・ 東部3地域協議会合同研修会について  
事務局の案として、空き家対策について説明

(大信田会長)

委員の皆さんからは、今考えている案を中心にしてやっていただくということでご検討いただきたいと思います。

(倉田良子委員)

やはり事務局の方で考えている空き家対策については、私たち自身がしっかり学ばなければならない、今後のことにつながっていくために、非常に大事なことであることを認識するために空き家対策の現状と課題は、私たちにとっても研修としては、大事なことです。是非進めていただければありがたいなと思います。

(大信田会長)

まだまだいろいろご意見あろうと思います。午前中の大変お忙しいなか、貴重な時間を皆さんからご協議いただきまして、前向きな検討をすることができました。大変長時間にわたっていろいろとご協議いただきまして、ありがとうございました。これをもって3回目の地域協議会を終了させていただきます。

会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

会議録署名委員 高橋 清一郎

会議録署名委員 小松 淑